

証券コード:7226

極東開発工業株式会社



第83期中間決算のご報告

2017年4月1日～2017年9月30日

IR REPORT





トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2017年4月1日から2017年9月30日までの当社第83期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費が底堅く推移し、企業収益の改善により設備投資が持ち直すなど、緩やかな景気の回復が続いているものの、不安定な国際情勢などもあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画 2016-18 ～Value up to the Next～（2016年4月1日～2019年3月31日）の2年目として前連結会計年度に引き続き、事業の質の向上と確固たる収益基盤の確立を図るべく、諸施策を実行しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は3,383百万円（6.7%）増加して53,658百万円となりました。営業利益は177百万円（3.8%）増加して4,786百万円、経常利益は716百万円（16.8%）増加して4,995百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は115百万円（3.4%）増加して3,514百万円となりました。

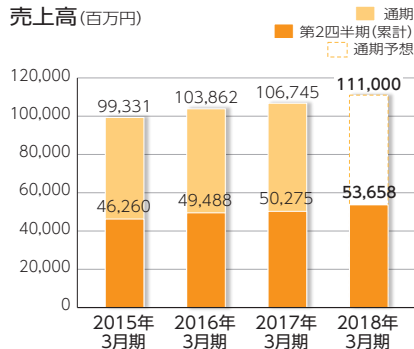
また、2017年度期末配当金につきましては、前年同期と同様1株につき18円とする予定です。これにより、年間配当金は前年度実績の1株当たり34円から2円増配の36円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

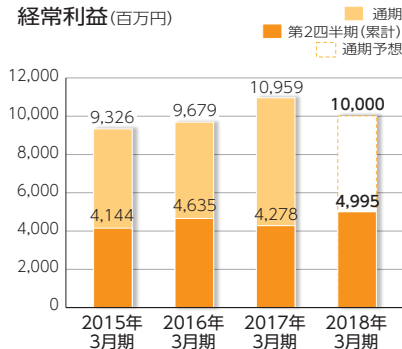
2017年12月 取締役社長 高橋和也

■ 業績ハイライト

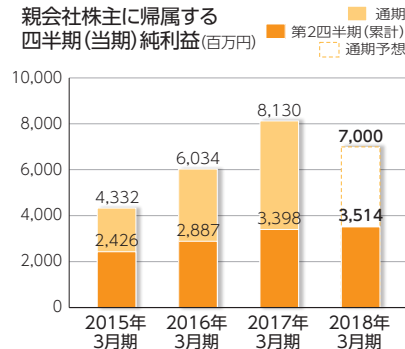
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (百万円)



新開発の39メートル級ブームと閉回路方式油圧システムを搭載し、
国内最高のブーム長^(※)と吐出量を実現したフラッグシップモデルが堂々誕生！

新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート® PY165-39」を発売

このたび、国内最長^(※)となる39メートル級のブームと、国内最大の吐出量を実現した閉回路方式油圧システムを採用したコンクリートポンプ車「ピストンクリートPY165-39」を発売しました。

新機種は、それぞれ新開発となる39メートル級のRZ型5段屈折ブームと、最大吐出量165m³/hの閉回路方式採用の油圧システムを、GVW25トン車に搭載したピストン式コンクリートポンプ車で、当社史上最長（国内市場向け）かつ最高性能を誇る車両です。また、多くの部位に高張力鋼板を採用し強度を保ちながら軽量化を実現したほか、稼動状況等を表示するディスプレイシステムも装備し、より安全かつ効率的な作業に寄与します。

国産コンクリートポンプ車の先駆けとなる「PC80型」を1966年に発売以来、50年を超える国内トップメーカーとしてのノウハウと技術力を高次元で融合したフラッグシップモデルの誕生です。

（※国内法規を満たした公道走行可能車両として）



ピストンクリート
PY165-39

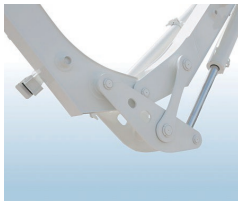
「ピストンクリート®PY165-39」の特徴

1 国内最長の39メートル級 RZ型5段屈折ブーム

ブーム形状及び配管レイアウトの工夫と、車両全体のコンパクト化・重量バランスの最適化により、国内法規を満たした公道走行可能車両として国内最長となる39メートル級の新開発RZ型5段屈折ブームを採用しました。また、ブーム屈折部のリンク構造を大きく変更し、高い強度を保ちながらブームのスリム化を図ることで大幅な軽量化も図っています。



39メートル級RZ型5段屈折ブーム

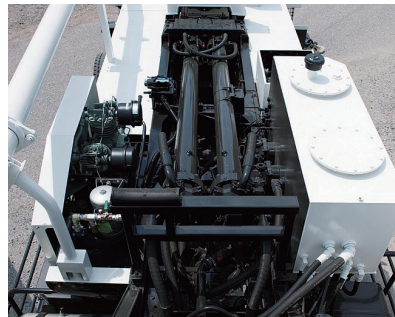


ブーム屈折部リンク

2 国内最高クラスの最大吐出量165m³/h を実現した閉回路方式油圧システム

油圧システムに、新開発の「閉回路方式」を採用することで、国内最大の吐出量165m³/hを実現しました。

メインシリンダの切換え時の応答性を向上し、大吐出量と衝撃・騒音の抑制を両立させているほか、メイン回路の切換えバルブをなくしたシンプルな回路構成の実現により軽量化にも貢献しています。



閉回路方式油圧システム

インドネシア事業の強化

立体駐車装置の初号機が竣工

インドネシアの現地法人(PT. Kyokuto Indomobil Distributor Indonesia:ジャカルタ市)を通じて受注しておりました立体駐車装置の初号機が竣工しました。

インドネシアにおいては、モータリゼーションの拡大や人口の増加により都市部において駐車場不足の問題が発生しており、立体駐車装置の潜在的な需要が見込まれています。

当社および当社グループの極東開発パーキング株式会社では、インドネシア工場の合併パートナーであるインドモービルグループ会社のジャカルタ市内にある乗用車販売会社敷地内に、2014年より立体駐車装置のデモ機を設置し現地の市場調査を進めていたところ、本初号機を受注し、現地への部材の輸出および建設を経てこのたびの竣工となりました。

初号機は、ジャカルタ市内に建設・納入された3段式で合計46台の駐車可能な立体駐車装置です。

既に現地での関心も非常に高く、当社グループではデモ機および初号機を通じて立体駐車装置の利便性を訴求し、今後の拡販および受注を図ってまいります。



立体駐車装置初号機

新製品ニュース

新型「パワーゲート®CG1000シリーズ」を発売

このたび、床下格納式テールゲートリフタ「パワーゲートCG1000シリーズ」をフルモデルチェンジし、発売しました。

今回の新製品では、高張力鋼板やパワーユニットへのオールステンレスカバーの採用などによりユニット重量を軽量化したほか、キャスターストップおよびプラットホーム（荷物搭載部）表面の改良により、さらに安全かつ使いやすくなりました。床下格納式テールゲートリフタの先駆者として、お客様のニーズにお応えしたフルモデルチェンジです。



パワーゲート CG1000DM

粉粒体運搬車「セミダンプ式ジェットパック®」をモデルチェンジ

このたび、粉粒体運搬車「セミダンプ式ジェットパック」をモデルチェンジし、発売しました。

ダンプ式ジェットパック（フルダンプ式・セミダンプ式）は、タンクを傾斜させ積荷の粉粒体を後部排出部から排出させることが可能な粉粒体運搬車で、比較的大きな粒状の積荷の排出に適しています。

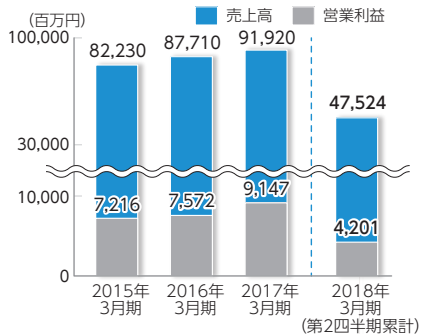
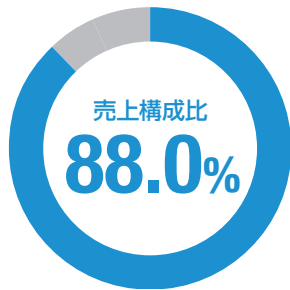
今回モデルチェンジした新型のセミダンプ式ジェットパックは、操作系をシンプルにし簡素化を図ったほか、タンク内構造の最適化により排出性能を向上させるなど、より使いやすく進化させました。



セミダンプ式ジェットパック

■ セグメント別概況

〔 特装車事業 〕



中型ダンプ (4トン車)



フラットパネルバンボデー

国内は、物流関連車両が牽引し高水準で推移しました。当社グループでは、2017年9月より施行された新しい排気ガス規制への対応をはじめ、積極的な受注の確保や、各工場における生産の合理化に向けた各種施策を進めました。

また2017年6月に床下格納式テールゲートリフタ「パワーゲート® CG1000シリーズ」をフルモデルチェンジしたほか、7月にGVW22

トン車級クラスで国内最長の33メートル級ブームを搭載した
 新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート® PY120-33C」
 を、10月には国内最長の39mブームと国内最大の吐出量
 を実現したフラッグシップモデルである新型コンクリートポ
 ンプ車「ピストンクリート® PY165-39」をそれぞれ発売し、
 ユーザーニーズに合わせた新製品を積極的に投入しました。

これらの結果、売上高は3,542百万円（8.1%）増加して
 47,524百万円となりました。営業利益は273百万円（7.0%）
 増加して4,201百万円となりました。



4トン脱着ボデー車
 (ハイパースイング・フックロール®)

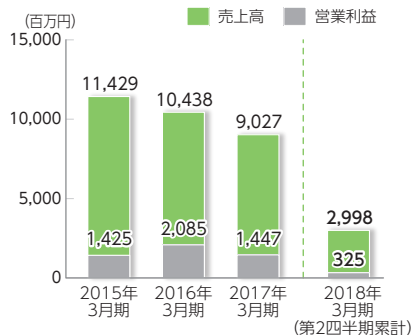
■ 国内普通トラック登録台数の推移



24kL タンクトレーラ

■ セグメント別概況

[環境事業]



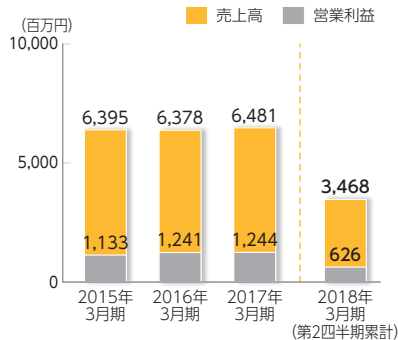
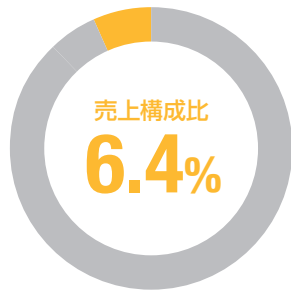
バイオガスプラント (北海道 興部町様)

プラント建設では新規物件として滋賀県大津市様より受注したごみ処理施設2件の建設工事の準備を進めたほか、受注済物件の建設と、ストックビジネスとしてメンテナンス・運転受託にも継続的に注力しました。

バイオガスプラント事業では、新たな受注を確保すべく営業活動を行ったほか、技術提携先のコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッドと共に、前連結会計年度に北海道豊浦町様より受注したバイオガスプラントの建設工事を進めました。

しかしながら、プラント部門の工事進行基準売上の減少により、売上高は461百万円（13.3%）減少して2,998百万円となりました。営業利益は62百万円（16.1%）減少して325百万円となりました。

[不動産賃貸等事業]



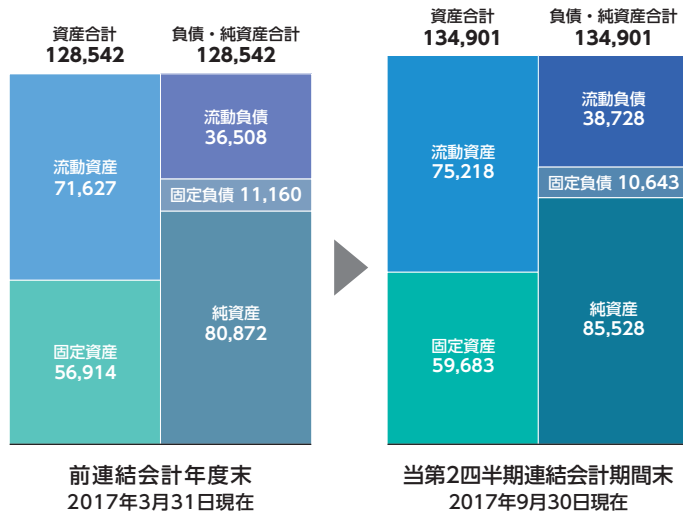
P.ZONE® ささしまライブパーキング

立体駐車装置は引き続き厳しい市場環境の中、ストックビジネスであるリニューアルおよびメンテナンスの受注確保を図ったほか、コインパーキングにおいては、2017年4月にオープンした立体駐車場「ささしまライブパーキング」の運営と、その他事業地においても採算性を重視した事業展開を行いました。

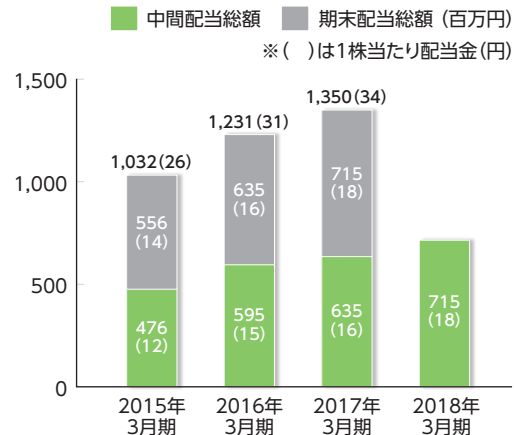
これらの結果、売上高は309百万円（9.8%）増加して3,468百万円となりました。営業利益は13百万円（2.2%）増加して626百万円となりました。

■ 連結財務データ (日本基準)

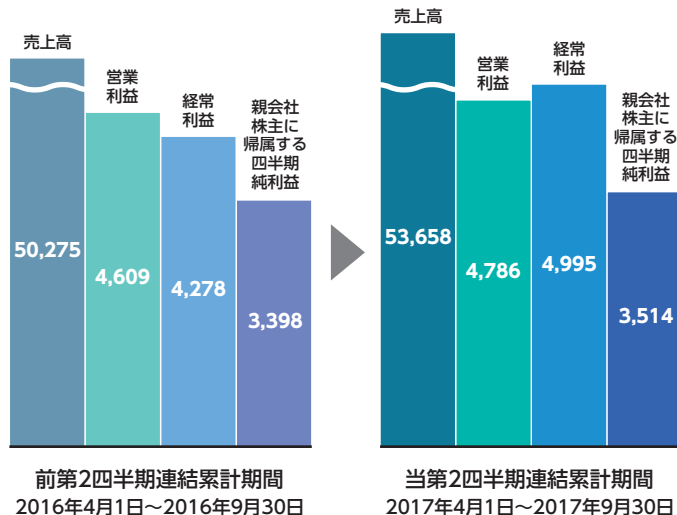
四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



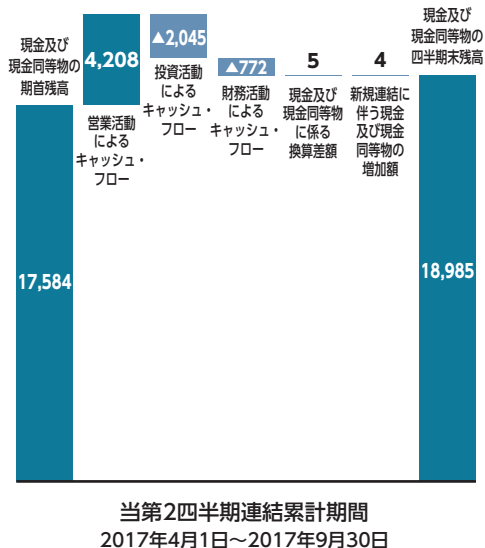
配当総額の推移



四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



■ 企業データ (2017年9月30日現在)

[会社概要]

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結2,765名 単独1,006名

[役 員]

代表取締役社長 社長執行役員	高 橋 和 也
代表取締役専務 専務執行役員	近 藤 治 弘
取締役 常務執行役員	杉 本 治 己
取締役 常務執行役員	米 田 卓
取締役 常務執行役員	酒 井 郁 也
取締役 執行役員	則 光 健 男
取締役 執行役員	布 原 達 也

社 外 取 締 役	木 戸 洋 二
社 外 取 締 役	道 上 明
常 勤 監 査 役	高 植 義 典
監 査 役	楠 山 友 幾
社 外 監 査 役	乗 鞍 守 良 彦
社 外 監 査 役	堀 本 良 昇
執 行 役 員	加 藤 定 宣
執 行 役 員	櫻 井 晃 章
執 行 役 員	栗 山 裕 幸
執 行 役 員	細 澤 幸 一
執 行 役 員	原 田 広 彦

■ 株式データ (2017年9月30日現在)

〔 株式の状況 〕

発行可能株式総数 170,950,672株

発行済株式総数 42,737,668株

株 主 数 3,667名

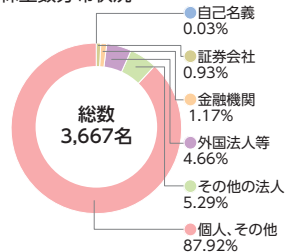
大 株 主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,653	4.16
株式会社三井住友銀行	1,600	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.77
極東開発共栄会	1,256	3.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,104	2.77
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.54
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	901	2.26
宮原 幾男	842	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	837	2.10
株式会社奥村組	761	1.91

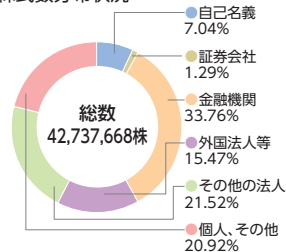
(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式(3,009千株)を控除して計算しております。

〔 株式分布状況 〕

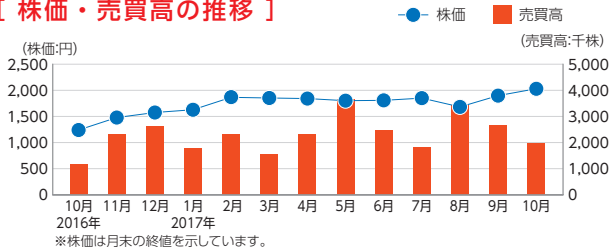
株主数分布状況



株式数分布状況



〔 株価・売買高の推移 〕



[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (http://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 総務部

TEL:0798-66-1000

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:soumu@kyokuto.com

社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

